

広げよう コミュニティの輪

彩の国コミュニティ協議会

第27号 2010.1



みんなで
冬の寒さをふきとばせ!

主な内容

P2 平成21年度 県民の日記念式典開催!!

- ・県民の日フリー乗車券
- ・あしたのまち・くらしづくり活動賞

P3 第41回シラコバト賞

- ・会員紹介
- ・サイタマ・レディース経営者クラブ
- ・市町村コミ協の魅力発見!
- ・久喜市コミュニティ協議会

P4 地域の絆

～アダプテッドスポーツ体験研修会～

お知らせ

「プチ情報」への情報掲載を希望される会員の方を募集しています。
詳細については事務局へお問い合わせください。

彩の国コミュニティ協議会 会員 & 賛助会員 募集!!

コミュニティ活動をさらに活発にするために、協議会の趣旨に賛同し協力していただける新規会員、賛助会員を募集しています。入会、お問い合わせについては当協議会事務局まで御連絡ください。

- 会員**
- 企業・団体
 - 会費：企業 1口 5,000円を2口以上
団体 1口 5,000円を1口以上

- 賛助会員**
- 個人
 - 会費：1口 2,000円

賛助会員だけの入会特典

コバトンがかわいい
ストラップがいっぱい!



入会記念として

コバトンストラップ又は
コバトン缶バッジ(2個)を
プレゼント!

平成21年度 県民の日記念式典 開催!!

去る11月14日(土)、平成21年度県民の日記念式典が埼玉会館で開催されました。当協議会主催のシラコバト賞、あしたのまち・くらしづくり活動賞の表彰が行われ、受賞者の代表に当協議会会長 上田 清司 埼玉県知事から、賞状、副賞の盾が授与されました。

他にも知事表彰や小中学生の絵画・作文コンクールの表彰も行われ、大勢の方に御列席をいただき華やかな式典となりました。



【県民の日フリー乗車券】

「県民の日」に限り各鉄道会社ごとに乗り放題になる「フリー乗車券」の販売が行われ、約9,000枚の売り上げがありました。

御協力をいただいたのは、以下5つの県内鉄道会社です。

西武鉄道、東武鉄道、秩父鉄道
埼玉新都市交通、埼玉高速鉄道



多くの皆様の御利用
ありがとうございました!

【あしたのまち・くらしづくり活動賞】 県審査会

あしたのまち・くらしづくり活動賞は住みよい地域社会を目指し、地域が直面している課題に自ら取り組み、多大な成果を挙げられた住民集団・企業等に贈呈されるものです。本年度は県審査会として、優秀賞を4団体が、奨励賞を2団体が受賞されました。

優秀賞

和光市食文化研究会 (和光市)
特定非営利活動法人 みんなのまち草の根ネットの会 (草加市)
和光市地域子ども防犯ネット (和光市)
広谷新町こどもクラブ (川越市)

奨励賞

新座市母子愛育会 (新座市)
上内地区コミュニティ協議会 (鷲宮町)

【あしたのまち・くらしづくり活動賞】 中央審査会

上記県審査会で優秀賞に輝いた4団体については、全国から活動事例が集まる中央審査会に推薦をしました。その結果、下記の2団体が表彰を受けられましたので御紹介します。

主催者賞



食を通して先人の知恵と豊かさを学ぶことで、自分達の故郷を深く知ってもらおうと、食文化の伝承や食育活動等に積極的に取り組んでいます。市内の農家の年配者を対象に、食に関する聞き取り調査を実施し、記録を取るとともに、伝統料理のレシピを作成したのが活動の始まりです。味噌、豆腐、手打ち蕎麦、漬物等、テーマごとにまとめられたテキストは20冊を超えました。このテキストを使った食育講座は、



彰の国銅合戦にも参加

開催に公民館や子育て関係のNPOなどの御協力をいただいております。どの講座もキャンセル待ちが出るほどの人気となっています。

また、専門家の指導のもと、明治から昭和初期頃の和光市白子宿の様子を細かく書き込んで作成した絵地図

～地域の食を守り伝統を守る～

和光市食文化研究会

は、当時の生活が一目でわかるようになっており、歴史を知る資料として市内の全公民館に掲示されています。

会では、市民の食べるものは地元で作り食卓に並べるのが好ましいと考え、農家に無償で貸していただいた休耕地を利用し、かつて市の特産品であった蕎麦や大豆、小麦、キビ等を育てています。収穫したものは食育講座等の食材に使うほか、市民祭や農業祭等で地域の方々にも提供しており、様々な機会を通じて食文化の伝承に努めています。参加して下さる地域の皆さん、そして子どもたちの輝く表情を喜びとして、後々までこの活動と成果を伝えていきたいと心から感じています。



【小学校の総合学習】
たくあんを作りました

(会長：加藤 洋子)

あしたのまち・くらしづくり活動賞 振興奨励賞

子どもがのびのびと安全に過ごすことのできるまちづくりを目指し、「キッズガーディアン」を結成。子どもたちへの声かけや見守りを行うほか、防犯危険地図の作成など、住民主体で様々な活動に取り組ん

～子どもを見つめる地域の目～

和光市地域子ども防犯ネット

でいます。また、行政や自治会、団体等とネットワークを構築することで、普段から子どもたちの安心・安全を守る地道な活動を続けています。

(代表：吉田 武司)

【第41回シラコバト賞】

日頃、住みよい地域社会を実現するため、積極的な実践活動を地道に続けている個人や団体の活動と功績を称える表彰です。清掃活動や郷土芸能の伝承など様々な活動をされている個人139名、団体61、計200件が受賞されました。

県民の日記念式典においては、受賞者を代表して4名の方に登壇いただき、上田 清司 会長から表彰状と副賞の盾が授与されました。

心のふれあいを深める活動

東松山市連合婦人会（東松山市）

婦人の地位向上を目的に研究協議を行う。高齢者の携帯電話講習会や老人ホームの慰問等、活動は多岐にわたっている。



「時代に合った活動を」と努力を重ね、ようやく表舞台に現れた感じです。この受賞をバネに、今後も地域社会の向上に精進いたします。

受賞の感想

健やかな心身を育てる活動

小久保 雅子氏（鴻巣市）

親子食育教室や男性料理教室、生活習慣病予防教室を開催。公民館まつりなどにも参加し、地域に根ざした活動を行っている。



このような名誉ある賞を受賞し、代表として登壇でき感無量でした。これからも賞に恥じることなく活動を続けてまいります。

受賞の感想

住みよいふるさとをつくる活動

祭友会（川越市）

手作り神輿を製作し、川越百万灯夏祭りや地域の祭りに参加。老若男女が集まり、地域の活性化に大きく貢献している。



会員の長年にわたる結束のもと、受賞に至りました。これからも会員の増員を呼び掛け、社会活動を続けたいと思っております。

受賞の感想

郷土を知り、郷土を想う活動

内堀 金造氏（所沢市）

隣子連に入会したのち、近年はお隣子の指導員として学校に赴き、後継者の育成及び伝統芸能の普及や伝承に務めている。



コツコツとやってきたことが認められ、心から喜んでいきます。これからも次の世代に伝えていけるよう頑張っていきます。

受賞の感想

会員紹介

新しいメンバーが加わりました!

◆サイタマ・レディース経営者クラブ◆

サイタマ・レディース経営者クラブは、埼玉県内の女性経営者・女性経営幹部を対象とした異業種交流のグループです。近年は農業・商業・工業・サービス業との連携も推進しています。

昭和61年から63年に埼玉県が実施した「レディース・トップ・スクール」の修了生を中心に発足し、現在会員数は約90名です。製造業、建設業、小売業、サービス業など幅広い分野で活躍する女性経営者・女性経営幹部が所属しており、県レベルでの女性経営者グループとしては全国初のグループです。

当会は、会員の資質向上、経営力の強化とともに、地域産業の振興に貢献することを掲げています。「女性経営者の研修と交流の場」をキャッチフレーズに元気で笑顔でたやみず活動しています。

活動内容としては、会社経営の基本、経営に役立つ情報提供を行うと共に、現在活躍中の講師を招聘し、経営者としての資質の向上と経営力の強化をはかる実践的な研修会、埼玉県との共催によるトップレディースセミナー、経営革新セミナー等を開催、また経営者相互にわたるネットワークを強め信頼関係をたかめるために、新春講演会や企業見学会を兼ねた研修旅行も行っています。

今年度の女性経営者・企業家支援セミナーでは会員による事例発表と外部講師による「グローバル経済下におけるツール『IT』」と題してIT活用について講演を開催し元気の素を共有致しました。

ご興味のある方は是非当クラブのセミナーにご参加ください。貴女の仕事の一助となる情報と本音で語れる女性経営者の友人が必ず得られます。



皆さんの御参加
お待ちしております!



事務局：埼玉県産業支援課
TEL：048-830-3910

市町村コミ協の魅力発見!

県内には70の市町村コミュニティ協議会（＝コミ協）があります。地域性、特性を活かして活動しているコミ協をPR! あなたのお住まいの地域で活動している市町村のコミ協はどこなところでしょう??

久喜市コミュニティ協議会



意見交換の様子

協議を経て、市民の自主的な活動や人とのつながりを通じて、地域特性に応じたコミュニティを推進することで、豊かな地域社会をつくることを目的に、当協議会が設立されました。

昨年10月には、コミュニティづくり推進の一環として、久喜市と共催して「協働のまちづくり講演会」を開催しました。講師には、フリーアナウンサーの堀尾正明さんをお招きして、コミュニティづくりの必要性や大切さについて講演をいただきました。講演会終了後には、参加者から「これからはコミュニティづくりが必要だ」という言葉を耳にし、改めて、コミュニティづくりの推進に取り組もうと感じることができました。

現在、当協議会では、地区コミュニティ協議会の設立に向けて取り組んでいるところです。この地区コミュニティ協議会設立のためには、地域の皆さんからの理解と協力が不可欠だと考えています。当協議会の活動は始まったばかりですが、地域の皆さんが当協議会の活動に賛同し、協力していただけるよう、コミュニティづくりの推進に励んでいきたいと思っております。



堀尾アナの講演会

事務局：久喜市市民参加推進課 TEL0480-22-1111



コミュニティ活動は地域住民や地域団体、企業等様々な団体のつながりで支えられています。そんな地域のつながり＝「絆」を昨年度に引き続き、皆様にお伝えしていきます。今回は、コミュニティ協議会と大学・NPOとの協働事例です。

地域協働による
コミュニティづくりをめざして

アダプテッドスポーツ 体験研修会！

彩の国コミュニティ協議会北部地域担当局（埼玉県北部地域振興センター）では、大学やNPOも含めた様々な主体の「地域協働」によるコミュニティづくりを促進するため、北部地域市町（熊谷市・深谷市・寄居町）コミュニティ協議会研修会～アダプテッドスポーツ体験研修会～を実施しました。

誰でも参加できるアダプテッドスポーツ

「アダプテッドスポーツ」とはその人にあったスポーツという意味で、幼児から高齢者、障害のある人、体力の低い人を問わず、誰でも参加できるノーマライゼーションの考え方のもとで行われるスポーツです。

体験研修会は、地域の多様な存在を理解し、共につながり、助け合いながら豊かなコミュニティづくりを進めていくきっかけとなるよう、2市1町の協議会会員、障害者等施設を運営するNPO法人及び県市町担当職員の計35名の参加により、立正大学熊谷キャンパスで行われました。

地域とつながる立正大学

今回の研修会は、立正大学社会福祉学部の先生方、実際に授業でアダプテッドスポーツ実技を学んだ同学部の15名の学生さん達の全面的なサポートをいただき実施されました。

昨年完成したばかりのすばらしい新校舎にあるアリーナをお借りして、体験に必要な備品等も提供をいただきました。



立正大学熊谷キャンパス

大学が持っている施設や知的・人的資源を通じた地域とのつながりを大切にしている立正大学と、地域のコミュニティ協議会の連携が今後とも期待されます。

みんなでアダプテッドスポーツを体験！

研修会は二部構成でした。第1部は、「アダプテッドスポーツのお話」（講師：埼玉県障害者交流センター 荒井 英也 氏）から。地域で高齢者や障害のある方も一緒にできるアダプテッドスポーツの意義や楽しみ方についてお話をいただきました。

まず、普段聞いたことのある器具の「アダプター」からその意味を想像しました。高齢者や障害のある方、誰でも楽しめるようルールや道具を「アダプト」（適応）させる、という考え方をお聞きし、コミュニティづくりにも通じる視点だと思いました。



続いて、「アダプテッドスポーツの 荒井さん(写真右)のお話を聞く参加者体験」として、①アイマスク体験 ②ポッチャ ③フライングディスクなどを行いました。



アイマスク体験

アイマスク体験では、アイマスクをして同じ誕生日の仲間を捜すゲームをしたり、学生さんと参加者がペアになり、校舎内の歩行体験をしました。視覚からの情報が不足し、日常生活の不便さを実感しました。

また、視覚障害者にとっていかに声や音が大切な情報源なのか理解することができました。

「障害のある方の日々の生活の苦勞を感じました」「誘導の際の気遣い、言葉がけが大切ですね」といった感想も。



ポッチャ

ポッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者や四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。

ジャックボールと呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのカラーボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。

学生さんと参加者が混成で4チームに分かれ、ゲームを楽しみました。車椅子やランプス（補助具）も使用してみて、「アダプト」のもたやすさをあらためて感じました。

学生さんと参加者が混成で4チームに分かれ、ゲームを楽しみました。車椅子やランプス（補助具）も使用してみて、「アダプト」のもたやすさをあらためて感じました。



フライングディスク体験

フライングディスク体験は、1対1でのディスクのキャッチボールからはじまりました。

1から9までの番号が書かれた的に当てるゲームは大いに盛り上がりました。「子ども達と一緒に楽しめそう」「地区のレクでやってみたい」等の声がありました。

第2部の意見交換では、研修会の感想が述べられ、各市町のコミュニティ活動の取組状況が報告されました。「大学で開催できてよかった」という感想や、障害のある方や子ども達と接しているNPO法人職員の方からも「色々地域で御協力いただけたらありがたい」「自治会とNPOが連携していけたら」という感想が述べられました。

大学、NPOやコミュニティ協議会を構成する様々な地域団体が連携することで、それぞれが持つ特性をいかながら、楽しくコミュニティづくりを進めていける。そうした可能性を感じた研修会となりました。

○彩の国コミュニティ協議会北部地域担当局○
事務局：埼玉県北部地域振興センター
TEL：048-524-1110

コミュニティマップのご案内 県内のイベント情報が盛りだくさん!

彩の国コミュニティ協議会発行のコミュニティマップをご覧になりたい方は、120円切手を同封の上、彩の国コミュニティ協議会事務局(表紙下記参照まで)へお送りください。

